

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

日時	令和 6 年 9 月 3 日（火） 10 時 00 分～12 時 00 分																																														
場所	宜野湾市役所 2 階 庁議室																																														
議事骨子	1. 開会 2. 議事 (1) 第五次宜野湾市総合計画基本構想（案）について (2) 第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 5 年度）の評価・検証について 3. 報告事項 (1) 第五次宜野湾市総合計画及び第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系について 4. 事務連絡 5. 閉会																																														
会議資料	資料 1：第五次宜野湾市総合計画基本構想（案） 資料 2：令和 6 年度第 1 回振興計画審議会及びパブリックコメントにおける意見の概要と対応について 資料 3：第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 5 年度）の実績（報告用） 資料 4：宜野湾市の「総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要等 資料 5：宜野湾市人口ビジョン 2024 の概要と第三期総合戦略における目指すべき将来の方向性（地域ビジョン）（案） 資料 6：宜野湾市総合計画基本計画に示す基本施策とまち・ひと・しごと創生総合戦略の関係 参考資料 1：令和 6 年度第 1 回宜野湾市振興計画審議会議事要旨 参考資料 2：宜野湾市振興計画審議会委員名簿																																														
委員出席者 （敬称略）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th><th style="width: 60%;">所 属</th><th style="width: 30%;">氏 名</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出席</td><td>琉球大学国際地域創造学部 教授（経済学）</td><td>瀬口 浩一</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授</td><td>岩田 直子</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>琉球大学 グローバル教育支援機構 保健管理部門教授</td><td>崎間 敦</td></tr> <tr> <td>-</td><td>琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授</td><td>神谷 大介</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>宜野湾市商工会理事</td><td>吉田 英子</td></tr> <tr> <td>出席 (WEB)</td><td>宜野湾市観光振興協会会長</td><td>高里 健作</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>宜野湾市認可保育園長会会長</td><td>仲村 由香</td></tr> <tr> <td>-</td><td>宜野湾市自治会長会選任 大謝名区自治会長</td><td>眞志喜 初枝</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>宜野湾市社会福祉協議会事務局長</td><td>仲村渠 満</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>一般公募枠</td><td>坂田 安佐子</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>宜野湾市教育委員</td><td>大川 実</td></tr> <tr> <td>出席 (WEB)</td><td>特定医療法人 アガペ会 理事長</td><td>涌波 淳子</td></tr> <tr> <td>出席 (WEB)</td><td>アイパブリッシング株式会社 代表取締役</td><td>福島 健一郎</td></tr> <tr> <td>出席</td><td>沖縄振興開発金融公庫</td><td>宮里 一弘</td></tr> </tbody> </table>			所 属	氏 名	出席	琉球大学国際地域創造学部 教授（経済学）	瀬口 浩一	出席	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授	岩田 直子	出席	琉球大学 グローバル教育支援機構 保健管理部門教授	崎間 敦	-	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授	神谷 大介	出席	宜野湾市商工会理事	吉田 英子	出席 (WEB)	宜野湾市観光振興協会会長	高里 健作	出席	宜野湾市認可保育園長会会長	仲村 由香	-	宜野湾市自治会長会選任 大謝名区自治会長	眞志喜 初枝	出席	宜野湾市社会福祉協議会事務局長	仲村渠 満	出席	一般公募枠	坂田 安佐子	出席	宜野湾市教育委員	大川 実	出席 (WEB)	特定医療法人 アガペ会 理事長	涌波 淳子	出席 (WEB)	アイパブリッシング株式会社 代表取締役	福島 健一郎	出席	沖縄振興開発金融公庫	宮里 一弘
	所 属	氏 名																																													
出席	琉球大学国際地域創造学部 教授（経済学）	瀬口 浩一																																													
出席	沖縄国際大学総合文化学部人間福祉学科 教授	岩田 直子																																													
出席	琉球大学 グローバル教育支援機構 保健管理部門教授	崎間 敦																																													
-	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授	神谷 大介																																													
出席	宜野湾市商工会理事	吉田 英子																																													
出席 (WEB)	宜野湾市観光振興協会会長	高里 健作																																													
出席	宜野湾市認可保育園長会会長	仲村 由香																																													
-	宜野湾市自治会長会選任 大謝名区自治会長	眞志喜 初枝																																													
出席	宜野湾市社会福祉協議会事務局長	仲村渠 満																																													
出席	一般公募枠	坂田 安佐子																																													
出席	宜野湾市教育委員	大川 実																																													
出席 (WEB)	特定医療法人 アガペ会 理事長	涌波 淳子																																													
出席 (WEB)	アイパブリッシング株式会社 代表取締役	福島 健一郎																																													
出席	沖縄振興開発金融公庫	宮里 一弘																																													

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

	出席	日本労働組合総連合会沖縄県連合会連合 沖縄中部地域協議会 議長	宇根 信明
	出席	FM ぎのわん 代表取締役	山内 一郎
	出席	うむやす法律会計事務所 弁護士	野崎 聖子
	出席	宜野湾市企画部長	坂場 純平
事務局	【宜野湾市企画部企画政策課】伊佐次長、小橋川主幹、玉元技幹、藤原主査、 平良技査、平良氏 【日本工営都市空間】内田、大城		

1. 開会

2. 議事

(1) 第五次宜野湾市総合計画基本構想（案）について・・・資料 1、資料 2

発言者	内容
委員	資料 2 を見るとパブリックコメントによる意見が 0 件とある。実施にあたってどのような方法をとったのか。
事務局	8/5（月）から 8/19（月）にかけて市の HP で意見募集を行い、市の公式 LINE でも周知を図ったが、意見は 0 件であった。
委員	意見が 0 件とのことだが、HP への書き込みが 0 件ということか。
事務局	その通りである。
委員	実施期間中に HP で内容を確認したが、案内について、一般の市民にとって理解が難しい内容であった。
事務局	募集の仕方や案内の方法については、意見が出なかった要因を把握し改善したい。今年度は、前期基本計画の案についてもパブリックコメントを実施する予定であるため、頂いた意見を踏まえて工夫する。
委員	どの程度の市民が関心を持ったかが重要である。閲覧数は把握できるのか。
事務局	デジタル推進課に確認する。
委員	ログ等を基にアクセス件数は把握できるが、宜野湾市民のアクセス件数を把握することは難しい。
会長	内容について意見無ければ、提示された基本構想（案）について、本審議会の案として承認してよいのか。
委員一同	異議なし。

(2) 第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和 5 年度）の評価・検証について

・・・資料 3

発言者	内容
委員	P4 に示した健康寿命と平均寿命は宜野湾市の値か。健康寿命と平均寿命に乖離があることが我が国の問題である中、宜野湾市は差がなく良い事例である。
事務局	本市の実績値である。ただし、沖縄県が 5 年に 1 度公表するものであり、令和 2 年以降の値は確認できていないため、最新の値が公表され次第、報告を予定している。なお、本市が健康寿命と平均寿命の差が無いことは認識しているが、国と沖縄県で健康寿命の定義が異なる可能性があるため、最新の値を確認したいと考えている。

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

発言者	内容
会長	国の定義からすると、差が小さすぎるように思う。沖縄県の定義について確認すべき。
事務局	最新の値が公表され次第、国と沖縄県の定義の違いを確認したうえで、詳細の内容を報告する。
委員	P2、基本目標 3 の基本的方向①、保育士不足について、市で保育士確保に向けた取り組みは行っているか。 また、基本的方向③の「資格を取得したが、資格を活かした職種に就職できなかった」ことについて、取得した資格を把握していれば教えていただきたい。
事務局	保育士不足への対応について、市の単独事業として、資格保持者が市内で就職する際、支度金として 10 万円を給付している。そのほか、沖縄県の補助を活用した事業に毎年取り組んでいる。 取得した資格については、把握できていないが、当該事業では、看護師、保育士、介護福祉士、社会福祉士、作業療法士、理学療法士等が対象となっている。
委員	P1、基本目標①の基本的方向①、人材育成について、創業支援に一定の効果があつた一方で、創業実績は 0 件とのことである。昨年度の沖縄開発金融公庫の創業融資実績は、沖縄県信用保証協会による協調融資等を要因として、コロナ禍以前よりも増加している。IT 分野に限らないが、経済が回復傾向にある中、0 件であることについて要因分析し、必要な支援があれば取り組むべきである。要因分析は今後実施予定か。
事務局	市でも課題として認識しており、今後、担当課の方で分析等を実施予定である。特に、今後はベイサイド情報センター内のマネージャーと連携して取り組む予定である。
委員	技術的な課題であれば専門家の派遣等の制度が活用できるため、まずは分析に取り組んでほしい。
委員	沖縄県内での創業件数はどうなっているか。おそらく他市町村では創業実績があると思う。宜野湾市が 0 件となっている要因を分析することは重要。
事務局	頂いたご意見を担当課へ伝える。
委員	参 - 8、基本的方向③の具体的施策②、ひとり親家庭への自立支援の KPI について、令和 5 年度の実績が、令和 4 年度の 100%から半減している要因が分かれば教えていただきたい。また、資格を活かした就職ができなかった人も満足はしているのか。
事務局	満足度は把握できていない。就職自体は出来たが、個人の事情で資格を活かした就職ができていないようである。
会長	割合を KPI として設定しているため、令和 4 年度と令和 5 年度では母数が異なり、比較できるものではない。次期計画に向けて、指標の妥当性を検証することが必要。
委員	就職先で習得した技能を活用できたか把握できるような指標はどうか。もしくは、市民の立場では、技能を活かせなくても給与が良いところに就職できれば良いと思われるため、視点を変えて検討しても良いのでは。

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

発言者	内容
委員	P4、横断的目標 2 の基本的方向①、自動販売機への受信機の設置について、園で設置した受信機の運用状況を見ていると、うまくセンサーが反応しないなど、設備に課題があるようだが、徘徊者を見つけた実績はあるのか。
委員	最近報道されていたが、浦添市で行方が分からなくなった認知症の方が宜野湾市内で見つかった事例がある。
事務局	現在取り組み中の事業であり、まだ、設置台数が少ない状況であるため、発見の実績は今後増えてくると思われる。
委員	P2、基本目標 3 の基本的方向①の取り組みについて、「認定こども園移行を見据え、今後は、「幼稚園教諭」を「保育教諭」に替えて確保の推進を図る」とあるが、免許は同じなのか。
委員	免許は異なるが、認定こども園に勤めている方は両方の免許を持っていることが多い。
事務局	公立の幼稚園教諭についても、講習を受講することで保育教諭の免許取得が可能であり、対象者全員が取得している。
委員	認定こども園に移行することで、人材は充足するのか。
委員	公立の幼稚園教諭を公設公営の園に集約し、その他は公設民営で民間事業者の力を借りることで充足すると考えている。
委員	待機児童数について、昨年度から変化がない。他市の職員と意見交換をしていると人材不足が続いていることが要因のようである。雇用できた場合も、働き方の問題でやめる人が増加しているようである。今いる人材がやめないように取り組むことについても意識することが重要。
委員	宜野湾市の保育園は、公営が 2 箇所で残りは民営となる。働き方が重要なことは理解しているが、民間事業者の経営にも関わるため、市としては、働き方改革に向けた指導に留まってしまう。
委員	ひとり親家庭への支援にも繋がるのではないか。ひとり親家庭は家庭責任が大きく、実質的にダブルワーク状態である。資格を取得しても週 40 時間の勤務が難しい人が多いのではないか。今後は、働き方改革が進んでいる職種を対象として自立に向けた支援が必要になるのでは。
委員	保育士不足について、新たに保育士を雇用したとしても、産休で休んだ人が戻ってくるタイミングで、仕方なく契約を切らざるを得ないといった問題もあった。そのため、タイミー（単発バイトのマッチング）を活用してみたところ、すぐに 40 名の応募があった。これまでは求人票に掲載してもほとんど応募が無かったが、短期間だとたくさんの人材が集まる。若年層にとっては、柔軟な働き方ができる短期的な仕事が好まれているかもしれない。
事務局	担当課に伝え、次期計画の参考とする。
委員	KPI の達成状況を見ると、7 割ほどの取り組みが「2 遅れている」または「1 未着手」である。進捗していない取り組みは、要因があると思われるため、選択と集中の判断が必要だと思われる。
事務局	「2 遅れている」や「1 未着手」の取り組みについて、課題として認識している。今後担当課と調整する。
委員	P2、基本目標 2 の基本的方向①、地域資源を活かした観光について、西海岸地域だけでなく、嘉数高台公園の桜祭りなどのイベントを追記することは可能か。

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

発言者	内容
事務局	ご意見を担当課にも伝えており、次期基本計画と総合戦略では、西海岸地域だけでなく、市全域の観光に触れた記載を検討している。
会長	評価結果について、大きな修正は無いと思われるため、本審議会の案として承認してよいか。意見があった箇所については、担当課へ確認いただきたい。
委員一同	異議なし。

3. 報告事項

- (1) 第五次宜野湾市総合計画及び第三期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系について・資料 4、資料 5、資料 6

発言者	内容
委員	市の総合計画、総合戦略、DX 推進計画と国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の関係性について、図で示してはどうか。
事務局	次回審議会で提示する。
委員	資料 4 について、総合戦略の目的に人口減少の「克服」とあるが、具体のイメージが難しい。人口増加は現実的ではないため、人口の維持を意図しているものと理解している。そのため、記載は「人口の維持」の方が分かりやすいのでは。
委員	「克服」は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略で用いているキーワードとなる。国では、人口が減少していく中でいかに行政サービスを継続していくか、の観点で「克服」を用いていると認識している。
事務局	人口ビジョンの将来推計において、人口置換水準を維持した場合でも、人口は減少に転じる。その中で継続した行政運営を行っていく趣旨である。
委員	行政サービスの維持には、市役所業務の DX を進めることも必要だと思うが、どのように考えているか。
委員	昨年度、市の DX 推進計画を策定しており、市民生活、行政運営、地域づくりの 3 つの柱で、DX に向けた市の取り組みを整理している。行政運営については、AI、RPA 等を活用して、窓口業務の効率化や単純作業の自動化等を位置付けている。
委員	デジタル化について、高齢者だけでなく、経済的な理由でデジタル化に対応できない人がいるため、必要な情報を得られない人が出てくることを懸念している。自治会で活動しているとチラシで情報を得ている人も多いため、情報をデジタルに限定することは避けていただきたい。
委員	デジタルデバйд対策として、スマホ教室を実施している。行政サービスは全ての市民が対象となるため、デジタルに限定することについては、慎重に検討する。 一方、デジタル化することで窓口に来なくても手続きができるなど、行政と市民双方にメリットがあるため、どのようなサービスを提供できるか研究しているところである。
委員	沖縄県医師会と台湾医師会は交流が深く、意見交換を行っている。台湾は DX が進んでいるが、不慣れな人のために対面のサービスも残しているようであるため、現実的にはそのような対応になるのではないかと。

**令和 6 年度第 2 回宜野湾市振興計画審議会
議事要旨**

発言者	内容
委員	デジタルに不慣れな人への対応だけでなく、多文化共生の観点から、日本語が第一言語ではない人でも使いやすいサービスにするためにデジタルを活用していくことが必要。
会長	生成 AI への対応についてはどのように考えているか。
委員	情報漏洩のリスク等があることから、当分は他市町村の取り組み状況を注視したい。
会長	計画書に対する議論は、次回以降となる。そのほか意見はあるか。
委員	資料の配付が遅かったため、もう少し早くいただきたい。
委員	パブリックコメントの意見が 0 件だったことは残念である。郵送で行った市民アンケート調査は一定の回答が得られていたので、アナログの手法を考えることも良いのではないか。
委員	期間も短く、形式ばった方法で実施したことは反省点である。基本計画は記載も具体的であり、意見も出しやすいと思われるため、方法・期間や周知の仕方等について工夫する。
委員	情報発信の方法に課題があると思われる。那覇市では、お金をかけずに情報を伝える方法を研究しているようである。宜野湾市としてどのように情報発信していくか位置付けられると良い。
委員	広報誌やイベント時の周知等、方法について研究する。

4. 事務連絡

発言者	内容
事務局	基本構想案は、10 月末頃庁議に諮って正式決定後、12 月議会に上程を予定している。 次回の予定について、第 3 回振興計画審議会では、前期基本計画と総合戦略の案について審議いただく予定。日時は、10/28（火）の 9 時 30 分または 10/31（木）の 9 時 30 分のどちらかで調整中である。 また、第 4 回の振興計画審議会は、11/26（火）の 9 時 30 分または 11/28（木）の 9 時 30 分を予定している。正式な日程は後日連絡する。

5. 閉会